

2015年度 前期				リフレクションペーパー			
学科名	生物環境化学科 電気通信工学科 建築・デザイン学科 情報学科 経営ビジネス学科						
科目名	法を学ぶ						
科目区分	人間形成科目		単位数	2	開講時期	前期	
必修・選択の別	選択						
担当者	柴田 滋						
授業の到達目標 (シラバスから)	受講者は、この講義を履修することによって、 ①日常の社会生活を規律する法律関係を説明し、 ②日常の出来事について、自由・平等の法理念に立って論理的な思考を行い、 ③関連法規など必要な法的情報を検索して法的判断を行うことができるようになります。						
日程と内容	4月14日 第1回. 法の概念 4月21日 第2回. 法学の二つの立場 4月28日 第3回. 法制史 5月9日 第4回. 近代法原理 5月12日 第5回. 社会法の形成と福祉国家 5月19日 第6回. 日本国憲法（Ⅰ）人権 5月26日 第7回. 日本国憲法（Ⅱ）国民主権と平和主義 6月2日 第8回. 刑法 6月9日 第9回. 民法（Ⅰ）財産法 6月16日 第10回. 民法（Ⅱ）民事責任、家族法 6月23日 第11回. 行政法 6月30日 第12回. 社会法（Ⅰ）労働法 7月7日 第13回. 社会法（Ⅱ）社会保障法 7月14日 第14回. 経済法、国際法 7月28日 第15回. 裁判						
成績評価基準	定期試験	100%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題演習		計	100%			
授業到達目標の達成度	法的思考の特徴と法の分野ごとの規律方法の特徴に重点を置いて、前駆学習目標の到達を目指したが、ほぼ達成できたと思われる。						
反省点	現代法の全領域を概観するという形で、法秩序の意義と性格を理解するように努めたが、焦点が絞られなかったのではという点が懸念される。						
来年度の計画	来年度は、現代法を特徴づける社会保障法や労働法などの社会法分野に重点を置いて、国民生活と密生つに関連している法の側面から、法の意義と法的規律の特徴を講義したい。						
授業評価アンケートに対するコメント	受講生が多い科目であり、全般的に平均的な評価であると思っている。受講生の関心や出席状況も多様であるとみられるので、毎回の授業テーマごとに、多くの受講生の関心を惹起するような構成を工夫して、全般的に評価を高めたいと思う。						
履修登録者数	243 名	定期試験 受験者数	222 名	合格者数	219 名	合格率	99%